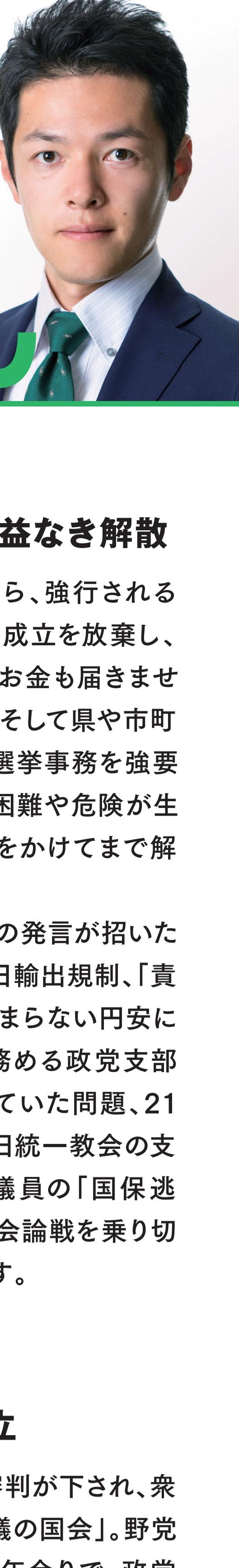


暮らしの安心を取り戻す

# 政治刷新。

衆議院議員立候補者

緑川たかし



暮らしの支援が届かず、

北国の事情も無視の国民利益なき解散

「物価高対策が最優先」と言いながら、強行される解散総選挙。国の当初予算の年度内成立を放棄し、4月に地方に届くはずの生活支援のお金も届きません。国民生活を置き去りにしてまで、そして県や市町村が予算編成で最も多忙な時期に選挙事務を強要したり、真冬の寒さや大雪で投票に困難や危険が生じる懸念もあり、現場に過大な負担をかけてまで解散する利益、大義はありません。

従来の政府見解と異なる、高市総理の発言が招いた日中関係悪化とレアアースなどの対日輸出規制、「責任ある」とは言えない放漫財政で止まらない円安による物価高の加速、総理が代表を務める政党支部が法上限を超える企業献金を受けていた問題、21年衆院選で290人の自民党議員が旧統一教会の支援を受けていた問題、与党の地方議員の「国保逃れ」の問題も明らかになりました。国会論戦を乗り切れないと判断した、理不尽な解散です。

少数与党だからこそ

実現した政治改革、法案成立

自民党の裏金問題に民意の厳しい審判が下され、衆参で少数与党となって生まれた「熟議の国会」。野党の提案が政策に反映され、わずか1年余りで、政党が議員個人に支給する「政策活動費」の廃止など一連の政治改革や、半世紀続いたガソリン暫定税率の廃止、能登半島の被災地関連予算の増額の実現など、数々の予算修正や法案を実現できました。再び自民党一強による政権運営となれば、こうした改革は不可能になります。

建設的な国会議論で、

生活に根差した政治を貫きます

暮らしや産業の現場を回る中でお寄せいただいたお声を軸に、国会議員として100回を超える質疑・討論に立たせていただきました。秋田、地方の視点から法律、制度課題を指摘しながら、国の施策の改善につなげてまいりました。

お支えいただいていることへの感謝の思いとともに、国民生活の安定のために、多様な民意がバランスよく反映された、現実的で安定感のある政策の実現に全力を挙げてまいります。

暮らしと中小企業重視の

「底上げ型経済成長」に政治刷新

高市政権の経済政策は「金融緩和なきアベノミクス」であり、円安によるインフレと株高で大企業は利益を上げても、生活者や中小企業にその恩恵は届きません。金利上昇による財政の圧迫で政策の自由度が失われ、弱い立場の方々へのしわ寄せとなるでしょう。求められるのは、国民の分断や対立をあおる政策ではなく、各層にとって安心できる、中道理念に基づいた現実的な政策です。エネルギーや食品の価格高騰を抑え込む即効性のある対策、医療や介護・福祉の充実を通じて国民の命と暮らしを守ること。物価上昇に負けない賃上げを後押しするため、中小企業への直接支援を強化し、誰もが豊かさを実感できる経済循環を取り戻します。

暮らしを守る、くらしを支えるNPOに対する支援

自死防止や困難を抱える人々へ支援を行うNPOを財政支援します。

●職場の安全・熱中症・寒さ対策

熱中症の危険度を示す計測器、防寒着、休憩室などを整備します。

●保育士や医療従事者等の待遇改善

保育士・幼稚園教員、学童保育指導員、児童養護施設職員等の月額賃金を年間10%に拡充します。

●「130万円のカケ」対策

年収が130万円を超えた際に発生する社会保険料で手取りが減少する「130万円のカケ」を給付金で補填します。

●大学研究費強化によるイノベーション促進

国立大学運営費交付金、私立大学等助成金、科研費の増額等を行います。

●中小企業等を支援

セーフティネット認証での貸金繰り支拂、伍枚軒拠等を進める公正取引委員会、「優良Gメン」等の拡充・強化、賃上げ税制の改善、新たに雇用した正規社員の社会保険料率主導の軽減、インボイス制度導入等を前進とした負担軽減措置を継続します。

●從業員の奨学金返済負担軽減

奨学金の代理返済を行っている中小企業に補助金を支給します。

●電気自動車用の国内投資の推進

電動車やペロソカイト太陽電池等の普及支援を行います。

暮らしの安心を取り戻す

# 政治刷新。

衆議院議員立候補者

緑川たかし

みどりかわ

緑川たかし選手手訪問

017-0046 秋田県大館市清水2丁目1-68

公式ウェブサイト

緑川たかし選手手訪問

お問い合わせ

緑川たかし選手手訪問

お問い合わせ